

第54回広島県中学校水泳競技選手権大会（競泳の部）

大会コード 3414291

- 1 趣 旨 本大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広くスポーツ活動の機会を与え、競技力の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健全な生徒を育成するとともに、相互に親睦をはかることにより中学校体育・スポーツの振興と競技力向上をねらう。
- 2 主 催 広島県中学校体育連盟 広島県教育委員会 （一財）広島県水泳連盟
 3 後 援 （公財）広島県体育協会 広島県公立中学校長会 広島県PTA連合会
 4 主 管 広島市教育委員会 中国新聞社
 5 会 期 広島市中学校体育連盟 広島市水泳連盟
 日 程 平成26年7月26日（土）
 開場 9：00、開会式 10：40、競技開始 11：00
 競技終了予定 18：00
 平成26年7月27日（日）
 開場 7：30、競技開始 9：00、閉会式予定15：00
- 6 会 場 広島市総合屋内プール（広島ビッグウェーブ）（公認50m）
 〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目8番3号 TEL 082-222-1862
- 7 競技種目 競技種目 競技順序

	男子	女子
自由形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
背泳ぎ	100m 200m	100m 200m
平泳ぎ	100m 200m	100m 200m
バタフライ	100m 200m	100m 200m
個人メドレー	200m 400m	200m 400m
メドレーリレー	400m	400m
リレー	400m	400m

一 日 目	
800m	自由形（女）
1500m	自由形（男）
50m	自由形
400m	個人メドレー
200m	背泳ぎ
200m	平泳ぎ
200m	バタフライ
200m	自由形
400m	リレー
二 日 目	
400m	自由形
200m	個人メドレー
100m	背泳ぎ
100m	平泳ぎ
100m	バタフライ
100m	自由形
400m	メドレーリレー

※予選はリレー種目を最初に行う

- 8 参加資格
- (1) 広島県中学校体育連盟に加盟する生徒で、学校長が参加を認めたもの。
 - (2) 年齢は平成11年4月2日以降に生まれたものに限る。
 - (3) 全項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の6月30日までに各郡市の中学校体育連盟を通して広島県中学校体育連盟に申し出ること。
 - (4) 引率・監督は該当校の校長・教員であること。
 コーチは学校長が認めた成人の者各校・各チーム1名。（要コーチ確認書）
 ただし、外部コーチには、他校（一貫校および同一敷地内の系列校を除く小・中・高・高等専門学校）の校長および教職員には資格がない。
 - (5) 大会引率者の特例
 - ①広島県中学校体育大会の引率者特例措置規程にもとづき、当該校の校長より申請され、広島県中学校体育連盟会長が認めた保護者または地域のスポーツ指導者。
 - ②参加を希望する学校は、広島県中学校体育大会の引率者特例措置規程および細則を遵守すること。
 - ③所定の様式を、参加申込書とともに各競技の申込先へ提出すること。
 - ④コーチをつけることは、認められない。
 - (7) 参加資格の特例
 学校教育法第134条の各種学校（1条校以外）に在籍し、各郡市中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - (8) 大会申込は、陸上競技・水泳競技を除く個人戦に限り1競技とする。

- 9 参加制限 (1) 個人種目では、1郡市1種目2名以内(福山4名以内、広島8名以内)、1名2種目以内で各郡市代表として出場できる。ただし、800m自由形は14:23.0 1500m自由形は25:27.0の制限記録を突破したものに限り。
※郡市代表として出場するのは別枠で、各郡市の大会を含む水泳大会(記録会)において、本大会出場の標準記録を突破した者は、申し込むことができる。ただし、郡市代表枠を含めて1校1種目3名以内、1名2種目以内に限る。
- (2) リレー種目では、1郡市2校以内、(福山4校以内、広島8校以内)メンバー6名で、各郡市代表として出場できる。または、個人種目出場者だけでチームが編成できる学校は申し込むことができる。(リレーの登録は6名まで)ただし、1校1チームとする。
- 10 競技規則 2014年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則による。
- 11 競技方法 (1) 競技方法 ①男女別学校対抗とする。
②予選はタイムレース、決勝はすべて10名とする。
③スタートは、1回とする。
- (2) 優勝校の決定方法
各種目毎に1位8点、2位7点、・・・、8位1点(ただし、リレー種目は、1位16点、2位14点、・・・、8位2点)とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は次の順に従って決定する。
①リレーによる得点が多い学校
②入賞者数の多い学校(ただし、リレーは4人とする。)
③1位の数の多い学校
④2位の数の多い学校(8位までこれにならう)
- 12 競技方法 (3) 表彰規定 学校対抗 1位に優勝旗、8位までに賞状を贈る。
個人種目 8位までに賞状を贈る。
リレー 8位までに賞状を贈る。
- 13 監督・引率代表者会議 (1) プロ会議 6月30日(月)15:00～
広島市出島福祉センター・研修室
〒734-0013 広島市南区出島一丁目32番1号 TEL082(256)2801
※委員長、事務局、広島市委員長、専門委員が出席
- (2) 監督・引率代表者会
①7月26日(土)10:00～ 会場にて
②7月27日(日)8:30～ 会場にて
③7月27日(日)閉会式後 会場にて(中国、全国の確認)
※監督会議に欠席されると、出場できなくなります。
- (3) 郡市専門委員長会議
7月27日(日)昼休憩 会場にて
- 14 参加申込 (1) 出場校は、Webエントリーをして、次のものを各郡市内の申込期限を守り各郡市専門委員長へ提出すること。
①出場申込書(様式K)
②競技会申し込み書
(エントリータイムデータ一覧表、リレーデータ一覧表(必要校のみ))
(Web-SWMSYSよりプリントアウト)
③コーチ確認書(コーチが必要な場合のみ)中体連必携参照
④大会引率者の特例申請書(大会引率者の特例の場合のみ)中体連必携参照
※郡市代表として出場する選手も、標準記録突破による別枠で出場する選手もともに、出場種目欄には必ずベスト記録を入力のこと。
※リレー種目のみ出場する選手名はリレーにチェックを入れる。(6名のメンバーすべて)
※6月24日(火)から6月25日(水)正午まで広島県中体連水泳専門委員会ホームページ<http://www.swim34.jp/>に申し込み状況を掲載する予定なので申込一覧表と異なる場合は下記の申込場所へ連絡をすること。なお、掲載期間以外および大会当日の訂正は受け付けないので、各学校は期間内に確認すること。
- (2) 各郡市専門委員長は、次のものを6月19日(木)正午までに下記申込場所へ提出すること。
①出場申込書(出場校より送付されたもの)
②競技会申し込み書
(エントリータイムデータ一覧表、リレーデータ一覧表)
(Web-SWMSYSよりプリントアウト)(出場校より送付されたもの)
③コーチ確認書(出場校より送付されたもの)
④大会引率者の特例申請書(出場校より送付されたもの)
⑤各郡市の予選会記録報告書(様式G)
※各郡市専門委員長は②の記録において標準記録を突破していないものは、⑤の郡市代表によるものであることをチェックすること。
申込場所 〒732-0033 広島市東区温品八丁目5番1号
広島市立温品中学校 湯田 新 宛 TEL 082-289-1890
※各学校が直接申込場所に送付しないこと。
※各郡市専門委員長は、各郡市内の申込期限を決定し、各校へ連絡すること。

15 宿泊申込

- (1) 料 金 1泊2食 6,700円 昼食弁当 700円
- (2) 申込方法 出場校は、宿泊申込書を申込期限までに下記の場所へ提出すること。
- (3) 申込期限 6月19日(木) 正午必着のこと。(FAX可)
- (4) 申込場所 ニューまつお 〒732-0056 広島市東区大須賀町14-9
Tel.082-262-3141 FAX082-261-2259

- ※14と申込場所がちがうので注意すること。
- (5) 支払方法 宿泊、弁当代ともに、7月19日(土)に各宿舎に直接支払うこと
- (6) 取り消し 宿泊、弁当代ともに前日までは半額、当日以後は全額のキャンセル料を支払う。3日前まではキャンセル料はいりません。
- (7) その他 生徒だけの宿泊は、認められない。監督の宿泊が必要。
弁当のみの申し込みは不可。

16 大会負担金

- (1) 登録選手 (生徒のマネージャーは含む) 1人につき、900円とする。
- (2) 納入方法

- ア. 参加申込と同時に各郡市中体連に納入すること。
- イ. 納入方法については、各郡市中体連の定めによる。
- ウ. 各郡市中体連はとりまとめて、県中体連が指定する講座に振り込むこと。

17 備 考

- (1) 練習会場 7月26日(土) 大会本プール 9:00~10:00
競技終了後30分間
飛込プール 9:00~10:00
開会式終了~競技終了
7月27日(日) 大会本プール 7:30~ 8:30
飛込プール 7:30~ 8:30
9:00~競技終了

- ※受付は各チームの引率者で行い、受付を済ませてから練習を行うこと。
- (2) 中国大会(8月9日、10日 鳥取県米子市)への出場資格について
本大会で、各種目3位以内の入賞者はその種目に必ず出場する。
ただし、リレー種目は優勝チーム(開催県は2校)または個人で4人以上資格を有する者がいるチームのみ申し込むことができる。(リレーの登録は6名まで) 全国大会の標準記録を突破した者(チーム)はこの限りではない。
- (3) 全国大会(8月21日~23日 高知県高知市)への出場資格について
本大会で、予選決勝を問わず、標準記録を突破(同タイム可)した者(リレー種目は突破したチーム)は、その種目に限り申し込むことができる。
- (4) 標準記録
全国大会標準記録
(※は昨年度と変わったもの)

郡市代表による出場とは別枠の本大会出場標準記録

種 目	男子	女子	
自 由 形	50m	25.34	27.43
	100m	55.13※	59.51※
	200m	1:59.84	2:08.29
	400m	4:12.19※	4:28.77
	800m		9:17.10
	1500m	16:51.69	
背 泳 ぎ	100m	1:01.64	1:05.80
	200m	2:12.75	2:21.32
平 泳 ぎ	100m	1:07.49※	1:14.02※
	200m	2:25.49※	2:37.69※
バタフライ	100m	58.71※	1:03.96
	200m	2:10.17※	2:20.21

男子	女子
32.4	34.9
1:10.7	1:15.7
2:33.3	2:43.1
5:25.6	5:41.8
	11:41.1
21:30.1	
1:17.0	1:22.4
2:47.2	2:57.1
1:26.3	1:33.4
3:04.5	3:18.6
1:15.3	1:21.7
2:46.1	2:58.2

個人メドレー	200m	2:14.32※	2:23.31※
	400m	4:45.01※	5:04.39
リレー	400m	3:55.07	4:11.64※
メドレーリレー	400m	4:18.74※	4:40.37

2:50.6	3:02.7
6:03.5	6:24.7

- (5) 各校1名の競技役員を大会に派遣すること。
 (6) 競技で着用する水着はF I N Aマークがついているものに限る。
 (7) 注意事項

① 一般的注意事項

- 1) 競技場（アリーナ）は、プール1階全域とし、応援、コーチを禁止。
また、宣伝・広告の媒体にならないように注意。（プログラムの「大切なこと」ですから、本覧を読んで必ず守って下さい」参照）
スイミング名の入った水着、ジャージ等も着用しない。（アップの時を含む）
- 2) 試合会場までの往復は、各校の基準服またはユニフォームを着用し、交通ルール、マナーに気をつけ、引率者の指示に従うこと。自転車の使用は認めない。
- 3) 受付は、各チームの引率者で行い、受付を済ませてからアップを行うこと。
- 4) ジュース類、間食は禁止。（スポーツドリンク等は事前に水筒に入れて来る。ペットボトルは持ち込まない。ペットボトルクーラーも不可。）
補食は持ち込み可能。（ゴミは持ち帰ること）
- 5) ゲーム、ラジカセ、ウォークマンなど不用物は持参しない。
- 6) 大会中プール敷地から無断で出ないこと。
- 7) 中体連の大会は、授業の延長として行動すること。

② 競技上の注意事項

- 1) 決勝進出者は上位10名とする。（スイムオフは、行わない）
- 2) 招集は、競技予定時刻の10分前までに本人が招集場に集合する。招集場所は、1階プール入口とする。招集に遅れないように注意。
- 3) 競技の進行は、原則として20分以上は繰り上げない。繰り上げる場合は通告する。（2レース合同で行うことがあるので進行状況に注意）
- 4) スタートの構えはすばやく行うこと。
- 5) 折り返し、ゴールタッチは、タッチ板有効面に確実にいき、自動審判計時装置を作動させる。
- 6) アップの時を含めて、コースロープにつかまらない。コードに足をひっかけないように注意すること。
- 7) 記録は2階掲示板に掲示する。（放送による発表は総合3位まで）
- 8) リレーのオーダーはプログラムの後ろにある参加選手一覧表の番号も記入すること。
リレーオーダーの締切は、1日目は10:00、2日目は、8:30とし、決勝は、予選レース終了までに招集に提出のこと。
- 9) 飛込プールでの練習は、指定されたところのみとする。途中で止まらず、横方向に泳ぐこと。飛込の板や台に上がらないこと。アップ、ダウンの目的で使用すること。
- 10) 棄権または訂正がある場合は、プログラム最後の棄権・訂正用紙を監督会議20分前までに招集に提出すること。
- 11) スタートダッシュについて、開場から30分後から1、2、9、10コースをダッシュコースとし、スタート側からのみのスタートとする。
- 12) 大会における天候に関する危機管理について
午前6時に気象庁（气象台）より開催地に警報が発令されたときは、大会（競技）の運営を原則として見合わせる。
 - ・警報によって開催地には特に影響がないときは、開催地実行委員会が安全を確認し、競技役員が安全確保（対策）に配慮の上、実施することができる。開催の有無は、午前7時にホームページに掲載する。
 - ・競技中に警報が発令されたときは、競技の実施を中断するなどの緊急安全対策を講じる。
- 13) 個人情報のうち、大会運営上必要な選手名・学年・所属（競技の特性上必要な事項）について公開します。尚、報道機関に記録の提供を求められた際には記録の提供をします。参加校にあってはその旨を承諾のうえ参加申込を行うこと。